



第20-70号

2021年1月7日

安全・安心な鉄道を目指して、ホーム上の安全対策を強化します**3月上旬から、登戸駅1・2番ホームでホームドアを使用開始**

～新型 QR コードによる「ホームドア自動開閉制御システム」の活用で、乗務員のオペレーション自動化を実現～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2021年1月9日（土）最終列車運行後から順次、小田急小田原線「登戸駅」にホームドアを設置し、3月上旬から1番、2番ホームでの使用を開始します。

使用開始までの工程（予定）は、1月9日（土）、1月16日（土）それぞれ最終列車運行後に2番、1番ホームへホームドアの据え付けを行い、各種動作確認等を経て、3月上旬から使用開始します。また、3番、4番ホームには3月下旬にホームドアの据え付けを行い、5月頃の使用開始を目指してまいります。据え付けから使用開始までの間は、ホームドアが開扉した状態となるため、警備体制を整えるとともに、ホームや電車内での注意喚起アナウンスを行うことで、ご案内を強化いたします。

また、登戸駅に導入するホームドアから、新型 QR コード（tQR[®]）による「ホームドア自動開閉制御システム」を採用します。列車の扉ガラス部分に tQR[®] を貼付するとともにホーム上家に設置する専用固定カメラで読み取ることにより、車掌の列車扉操作に連動してホームドアも開閉扉いたします。

なお、登戸駅のホームドア導入には、国、神奈川県、川崎市の補助を受けています。

当社では、「小田急電鉄は日本一安全な鉄道をめざします」という基本理念のもと、さまざまな安全対策に取り組んでいます。今後も、1日の利用者数10万人以上の駅を優先としたホームドア設置について、国や自治体と連携しながら進めてまいります。

※新型 QR コード（tQR[®]）は株式会社デンソーウェーブの登録商標です



自動開閉制御システム（イメージ）

※上記イメージは、株式会社デンソーウェーブのカタログから引用しています

「車両扉ガラス部に貼り付ける tQR[®]コード」

「登戸駅へのホームドアの導入」の詳細は、下記のとおりです。

記

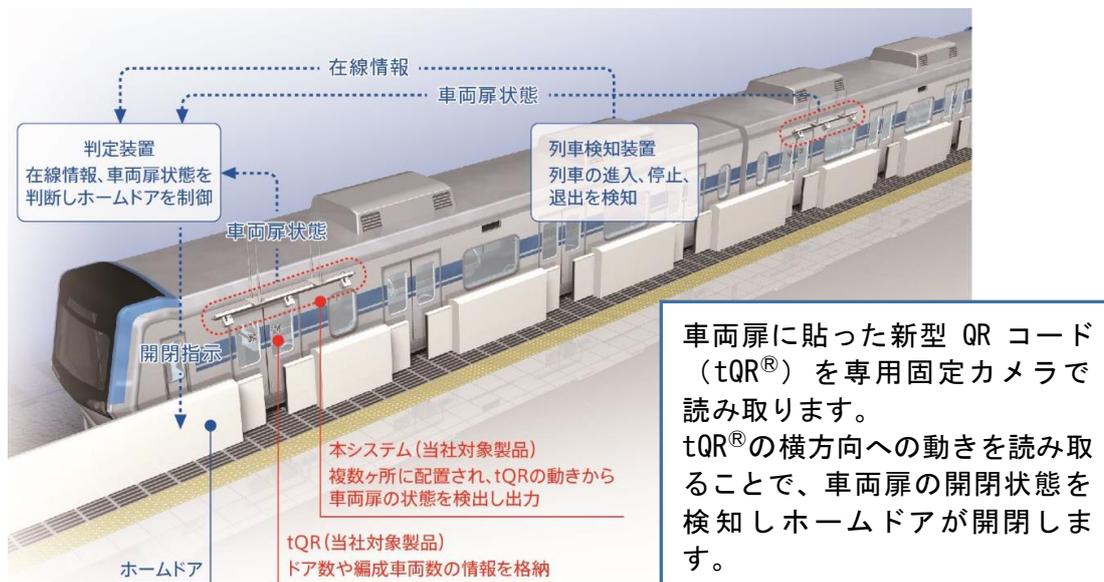
1 導入場所 小田急小田原線 登戸駅

(所在：神奈川県川崎市多摩区登戸2417)

2 据付・使用開始時期

場所	据付（終電後）	使用開始（始発から）
下り	1番ホーム	2021年1月16日（土）
	2番ホーム	1月9日（土）
上り	3番ホーム	2021年3月下旬
	4番ホーム	3月下旬
		2021年3月上旬
		2021年5月頃
		5月頃

【参考1】「ホームドア自動開閉制御システム」イメージ図



■ドア数の異なる車両にも対応



tQRのデータを判定装置側で使用することで、車種（一般車、特急車など）ごとに開閉する開口の変更が可能です。

■異なる編成数にも対応



車両編成数が異なる場合、列車停車位置のみホームドアの開閉が可能です。

※イメージ図は、株式会社デンソーウェーブのカタログから引用しています

【参考2】小田急線におけるホームドア導入実績

- ・ 2012年度 新宿駅4・5番ホーム
- ・ 2018年度 代々木八幡駅、下北沢駅3・4番ホーム
- ・ 2019年度 代々木上原駅、東北沢駅、世田谷代田駅、梅ヶ丘駅
- ・ 2020年度 下北沢駅1・2番ホーム

※ホームの記載ないものは、全ホームで導入しています

以上